

# かけ橋

2024 Winter | Vol.309

Business and Culture Magazine

kakehashi

持続可能性への  
技術戦略





「しがぎん」野の花賞  
受賞から始まる  
イノベーションのストーリーを紹介



# 居場所をつくる、 仕事をつくる

「普請」という言葉がある。  
土木工事や建築工事のことで、  
城普請、普請奉行などという使われ方をする。  
だが本来の意味は、普く(あまねく)請う(ことう)、  
広く平等に力を合わせて仕事をする、ことを  
意味する仏教由来の言葉だ。  
かつて農村では田植えや稲刈りなどの繁忙期に  
誰の田畑かを問わず総出で  
作業することを普請といい、今でも  
湖北の一部ではそういう言い方が残っている。  
普請を通してコミュニティは強化され、  
助け合いの美風も醸成されたのだろう。  
湖北・長浜の一隅で農福連携事業を  
推進する「つどい」には、  
現代の「普請奉行」といえる人がいる。

## 「人を大事にする仕事」 のために

長浜市の南東部、横山山系の懐に抱かれるように広がる西黒田地域。熊岡山、歌岡山など7つの丘陵が連なる独特な景観から七岡山とも呼ばれ、「金太郎」で知られる坂田金時がこの地で生まれ、周囲の山里を駆け回ってたくましく成長したという伝承が残る。認定特定非営利活動法人「つどい」の理事長・川村美津子さんも、この地で生まれ育った。元介護ヘルパー。社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員の資格を取得し、2011年1月、「つどい」を設立した。

「人を大事にする仕事」がしたい。利用者さんはもちろん、働く人たちも大事にしたいと思ったのです。川村さんの介護ヘルパーやケアマネジャーとしての経験を生かし、「つどい」は居宅介護支援事業としてスタートしたが、現在は「デイサービスつどい」「七条つどい」や農園事業「きんたろう村農園」、就労継続支援事業「B型作業所つどい」など、多方面に広がっている。転機になったのは12年の春。事務所裏の畑にサツマイモを植えた時のことだった。

ハスの花から作ったジャムは、甘く爽やかな香りが人気の商品だ。



上/ 棚田の跡地を利用したハス畑。隣接するカフェは、開花シーズンには観光客でにぎわう。  
左下/ 「つどい」の商品。ハスの葉茶、干し芋、しいたけなど。商品が増えるごとに、仕事も、居場所も増える。それが100JOB。  
右下/ 畑に立つ川村さん。今も現場で人と向き合うことに幸福を感じるという。

## 農福連携で1000の仕事、 1000の居場所を

「せっかくだから、ちょっとしたイベントのようにしよう」と思って。一緒にやりませんか、と利用者さんや近所の人たちに声をかけたのです。そうしたら、お年寄りや障がい者、近所の子どもたち、地元の高校生たちが大勢集まってくれて…。1aほどの小さな畑なのですが、そこに30人くらいが入って、お互いに助け合って作業をしてくれたのです。私はもう感動して、魂が震えました。私たちが進む道はこれだ、と確信しました。ソーシャルとビジネスの融合、農業と福祉の連携事業が、こうして始まった。15年、知り合いの香水会社

の社長から「国産のハスで香水を作りたい」という相談を受け、耕作放棄地だった棚田3haを、20人ほどの所有者を一軒一軒訪ねて借り、ハスの栽培を始めた。長年放置されていた土地には、なかなか水が張らず苦労したが、1〜2年かけて地道に耕し、今では観光客が訪れるほどの見事なハス畑が完成した。「私、実は農業高校出身なのです。とはいえ、ハス畑づくりにJ.Aさんや滋賀県普及指導員など、いろんな方に教えを請いました。ハスは水のほかジャムや染め物などに利用され、さらに生花や葉は京都の料亭や大手リゾート会社などにも出荷されている。このプロジェクトがきっかけで、18年度の「しがぎん野の花賞(日本電気硝子賞)

「フジテック賞」を受賞した。「ひきこもり、障がい、高齢、ヤングケアラー…。いろんな働きづらさ、生きづらさを抱えている人たちが、この地域にもたくさんおられます。でも、私たちが1000の仕事を生み出すことができれば、1000人の居場所ができる。これを、つどい100JOB」と名付けて、これからは頑張っていきます」

このインタビュー、実はしばしば中断した。川村さんが「ちょっとあの子たちの仕事を見てくるわ」と離席されたり、作業者がそばを通るたびに声をかけられるからだ。作業者と川村さんの短くも密接なコミュニケーション。地域の活力とは、きつとこういふことの積み重ねなのだろう。

認定特定非営利活動法人 つどい  
【事務所】  
〒526-0823 長浜市常喜町885番地  
URL <https://tsudoi.sakura.ne.jp>  
電話 0749-57-6777

2011年設立。介護保険事業、農園事業、就労継続支援事業などを幅広く展開する。「あいのたにロータプロジェクト」として、16年より休耕田を利用してハスの花を栽培するほか、しいたけやサツマイモの栽培や加工品の製造・販売も手がける。



農産物の加工・商品化は、基本的に全て自分たちの手で。作業者に混じって、川村さんも腕を振るう。